

団体概要書

(その1)

団体名	公益社団法人大阪市音楽団	団体の種別 ※いずれかの□にチェックしてください。	<input checked="" type="checkbox"/> 公益社団法人 <input type="checkbox"/> 公益財団法人 <input type="checkbox"/> NPO法人 ( <input type="checkbox"/> 認定NPO法人) <input type="checkbox"/> 非営利型法人 (公益法人へ移行予定)
代表者の 役職・氏名	(ふりがな) りじちょう いしい てつや 理事長 石井 徹哉		
主たる事務所の 所在地	〒559-0022 大阪市住之江区緑木 1-4-138		
設立年月	平成 25 年 12 月	構成員数	40
事業年度	4 月 1 日 から 3 月 31 日		
団体の活動 目的	この法人は、吹奏楽、その他音楽を通じて、人々の情操を豊かにすると共に、音楽の普及向上を図り、芸術・社会文化の発展に寄与することを目的とする。		
活動分野	※下表の芸術文化の中から選択して記入してください。 1.音楽		
主な活動内容	1) 公開演奏及び放送演奏 2) 吹奏楽に関する研究、調査 3) 児童又は青少年への音楽鑑賞及び指導を通じた音楽文化の普及、啓発		
これまでの主 な活動実績	※ 具体的かつ直近の活動内容がわかるように記入してください。 ・令和2年7月31日～8月28日までの毎週金曜日のたそがれコンサートの企画から実施。 ・令和2年10月13日～14日/20日～22日:小学校合同鑑賞会、令和2年10月27日: 幼稚園保育園(所)合同鑑賞会 ・令和2年7月12日新型コロナウイルスに負けるな! Shion 再始動 初陣! 宮川彬良× Osaka Shion Wind Orchestra(於:ザ・シンフォニーホール:指揮 宮川彬良) ・令和2年9月19日第132回定期演奏会(於:ザ・シンフォニーホール:指揮 下野竜也) ・令和2年11月26日第133回定期演奏会(於:ザ・シンフォニーホール:指揮 秋山和慶) ・令和3年1月31日第134回定期演奏会(於:ザ・シンフォニーホール:指揮 齊藤一郎)		
ホームページ	<input checked="" type="checkbox"/> (URL <a href="https://shion.jp">https://shion.jp</a> ) / 無		
機関紙	<input checked="" type="checkbox"/> (機関紙名 Shion タイムズ) / 無		

「活動分野」大阪市芸術文化振興条例第2条にて定義する芸術文化

- 1 音楽 2 演劇 3 舞踊 4 美術 5 写真 6 映像 7 文学 8 文楽 9 能楽 10 歌舞伎  
11 茶道 12 華道 13 書道 14 その他の芸術文化

## 寄附者へのPR等

(その2)

貴団体における現在の課題	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 団体経営における、人件費、事業経費等の資金不足。 雇用継続と品質維持のための必要経費の不足が課題</li><li>2. 自主事業における事業経費の不足 定期的自主事業の実施経費の不足 地域貢献事業(鑑賞会やファミリー向けコンサート)の事業経費不足</li><li>3. 搬送等の付帯費用・設備不足 コンサート事業実施に伴う付帯費用の不足</li></ol>
貴団体の将来展望 (何をめざしているのか、支援を受けて取り組みたいこと等)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 子育て支援事業への積極参画の一環としての“音育”事業の拡充</li><li>2. 小学校向合同鑑賞会事業の他府県での拡充</li><li>3. 企業と音楽との相互連携をはかることでワークライフ・バランスへの貢献事業への取組。(会社の従業員へ福利厚生支援)</li><li>4. 大阪から世界に向けて独自の芸術文化が発信できる事業</li><li>5. 小中高生への吹奏楽の普及、技術指導・支援等</li><li>6. 吹奏楽文化の発展</li></ol>
市民等寄附者に対するPR	<p>大正12年(1923年)の創立より98年の歴史を誇る交響吹奏楽団オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ(旧大阪市音楽団)です。時の流れと共に、娯楽や文化が多様化する中、音楽というものの重要性をもう一度見つめ直してもらえるような取組みを続けたいと思います。技術の進歩により、音楽というものがデジタルで手軽に手に入る時代だからこそ、臨場感と迫力のあるShionならではのサウンドをこれからも大阪から全国、世界の皆さんにお届けしていきたいと考えております。音楽で集まる人々の輪が“和”に繋がる活動を目指していきたいと思っております。どうぞ私たちの想いにご賛同いただきますようよろしくお願いいたします。</p>